

2023年度

# 地球温暖化対策計画書等作成マニュアル

横浜市 環境創造局  
環境管理課(計画書制度担当)

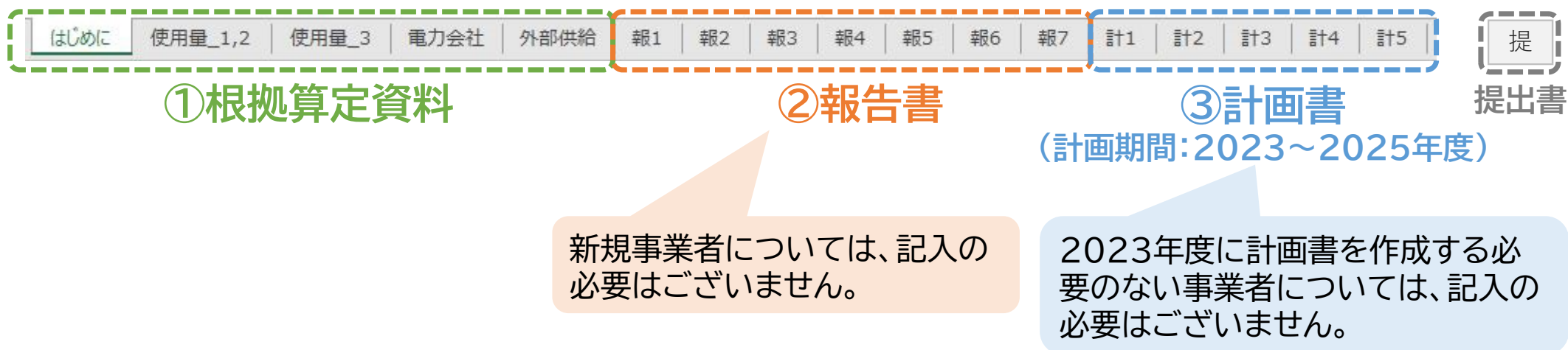
# はじめに

- このスライドでは、地球温暖化対策計画(計画書)、実施状況報告書(報告書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。
  - 計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。
- ※:横浜市生活環境の保全等に関する条例

# 作成する書類

## ■提出様式(「2023youshiki.xlsx」)

エクセルファイルのシートの内容が主に3つに分かれています



# 手順1: 提出様式をダウンロードし、各シートへ記入

## ①根拠算定資料 を作成

排出量等の算定根拠を作成するため、事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

## ②報告書 を作成

根拠算定シートから反映された値・内容を確認しながら、状況・説明等を記入する。

## ③計画書 を作成(必要な事業者のみ)

根拠算定シートから反映された値・内容を確認しながら、状況・説明等を記入する。

※提出書は自動生成するため入力不要です。


報告書、計画書に  
自動で数値が反映

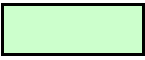
記入済みのExcelを  
横浜市電子申請・届出  
システムで提出

各様式の記入方法は次ページ以降で説明いたします。

## ■様式への入力ルール(セルの色分け)

 (黄色) 記入してください

 (白色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定)  
セルに保護をかけているため書き換えはできません

 (緑色) 昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定)  
変更がある場合は上書き修正してください

 (灰色) 記入対象外です

## ①根拠算定資料 を作成

### ■各シートの説明

シート名	シートの概要	入力対象事業者
はじめに	事業者IDを入れ、過年度提出データを様式に表示させます	1.2号 3号
使用量_1,2	エネルギー使用量を入力して、CO2排出量を算定します	1.2号
使用量_3	車両台数の燃料使用量を入力して、CO2排出量を算定します	3号
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます（入力不要）	1.2号 3号
外部供給	<u>他者へのエネルギー供給が有る場合のみ</u> 入力が必要です	1.2号
係数	<u>燃料などの排出係数等を変更する場合のみ</u> 使用します	1.2号

## ①根拠算定資料 を作成

1.2号 3号

### ■昨年度情報の呼び出し『はじめに』シート

<昨年度情報の呼び出し>  
・あらかじめ割り振られた事業者IDの下3桁を入力してください。(入力することで、過年度に提出頂いたデータ(一部)が記

事業者ID下3桁  [参考1:事業者名と事業者ID](#)

事業者名  ※昨年度報告の事業者名称が表示されません。

- ① 黄色セルに事業者ID下3桁を入力してください。
- 昨年度報告データが報告書に表示され、記載が不要なセルはグレー表示されます。
- 新規事業者は空欄にしてください。

事業者ID下3桁は、以下から調べることができます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/jigyosha ID.html>

## ①根拠算定資料 を作成

1.2号

### ■基礎情報の入力 『使用量\_1,2』シート

1 基礎情報

① 1) 他者へのエネルギー供給(販売)が有る場合は、「無し」⇒  
無し

② 2) エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所数等を入力  
エネルギー集計対象の事業所数 件  
うち、原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数 件 5

③ 3) 総括票の原単位設定  
 設定無し  
 設定あり(事業者全体で統一の原単位を使用)  
 設定あり(原単位の寄与度の合計から求め)

#### 【注意】

緑色のセルには参照式が入っています。  
一度 新しい値を入力するとその値に書き換わり、  
参照式は消えます。入力値を消しても前の値(参照  
式由来)には戻りません。

- ① 他者へのエネルギー供給がある場合は「有り」を選んでください。
  - ・「有り」の場合は『外部供給』シートも入力してください。
- ② 事業所数は、昨年度情報が自動表示されます。変更がある場合は上書きしてください。
- ③ 原単位の設定有無を選択してください。
  - ・設定ありの場合、指標は提出済みの計画書と同じとしてください。

※次期計画を作成する場合で、指標を前計画と別のものに変更する場合は、次期計画用に新たにファイルをダウンロードしてください。



# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■エネルギー使用量の入力 『使用量\_1,2』シート

エネルギーの種類		単位	横浜市内 合計	原油換算500kl未満の事業所 エネルギー使用量 (※複数の原単位を使用 原単位の種類別に入力 エネルギー使用量合計を入力)	原油換算500kl以上の A工場	B工場
原油(コンデンセートを除く。)	kl	↓自動計算				
原油のうちコンデンセート(NGL)	kl					
揮発油(ガソリン)	kl					
ナフサ	kl					
灯油	kl	50	50			
軽油	kl	514			514	
A重油	kl	623				623
B重油	kl	0				
石油アスファルト	t	0				
石油コークス	t	0				
石油ガス						
液化石油ガス(LPG)	t	12	12			
石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>	0				
可燃性天然ガス	t	0				
その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>	3286			1072	2214
石炭						
原料炭	t	0				
一般炭	t	0				
無煙炭	t	0				
石炭コークス	t	0				
コールタール	t	0				
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>	0				
高炉ガス	千m <sup>3</sup>	0				

① 原油換算500kL以上の全事業所の名称を入力してください。  
(30行目 N列以降)

② 市内事業所のエネルギー使用量を入力してください。

原油換算500kL以上はそれぞれ入力  
原油換算500kL未満はまとめて入力

※今年度から入力方法を変更しました。

※その他燃料の排出係数等の設定は『係数』シートで行ってください。

※排出原単位(寄与度)を設定する場合は、原単位の種類ごとにグループ化した合計値を入力してください。

**【注意】原油換算エネルギー使用量は、改正前の省エネ法施行令に準じて算出してください。非化石エネルギーは算定に含めません。**

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■電気の使用量の入力 『使用量\_1,2』シート及び『電力会社』シート

②

③

①

5社より多い場合、『電力会社』シートに登録されていない事業者の場合は、75~110行目を再表示してください。

登録番号+メニュー	電力会社	基礎	調整後	昼間	千kWh	夜間	千kWh	小計	千kWh
A0064_メニュー-F(残差)	東京ガス(株)	0.000435	0.000443	131	131	0	102	1215	
A0269_メニュー-J(残差)	東京電力エナジーパートナー(株)	0.000487	0.000487	157	157	0	263	1315	
A0001_メニュー-C(残差)	F-Power	0.000472	0.000505	156	156	540		1560	540
登録番号+メニュー	#N/A			0	0	0			
登録番号+メニュー	#N/A			0	0	0			
小計				498	498			6,155	

- ① 『電力会社』シートで、購入先電力会社（メニューがある場合はメニュー別）を検索し、「登録番号+メニュー」をコピーしてください。
- ② ①でコピーした文字列を『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ③ 電力会社別に電気の使用量を入力してください。

登録番号+メニューから  
コピー&ペースト

①

【小売電気事業者排出係数一覧】 2023年度

登録番号+メニュー	電気事業者名	基礎	排出
A0001_メニュー-A	(株) F-Power		0.00
A0001_メニュー-B	(株) F-Power		0.00
A0001_メニュー-C(残差)	(株) F-Power		0.00
A0002	イレックス(株)		0.00
A0003	リズパワー(株)		0.00
A0004_メニュー-A	エネグリーン・マーケティング(株)		0.00
A0004_メニュー-B(残差)	エネグリーン・マーケティング(株)		0.00
A0006_メニュー-A	エネグリーン・マーケティング(株)	0.000535	0.000000
A0006_メニュー-B	エネグリーン・マーケティング(株)	0.000535	0.000518
A0006_メニュー-C(残差)	エネグリーン・マーケティング(株)	0.000262	0.000401
A0007	SEウイングズ	0.000475	0.000482
A0008	(株) イーセル	0.000405	0.000000
A0009_メニュー-A	(株) エネット	0.000405	0.000000
A0009_メニュー-B	(株) エネット	0.000405	0.000200
A0009_メニュー-C	(株) エネット	0.000405	0.000220
A0009_メニュー-D	(株) エネット	0.000405	0.000300
A0009_メニュー-E	(株) エネット	0.000405	0.000349
A0009_メニュー-F	(株) エネット	0.000405	0.000370
A0009_メニュー-G	(株) エネット	0.000405	0.000408
A0009_メニュー-H(残差)	(株) エネット	0.000431	0.000000
A0011_メニュー-A	須川五郎(株)	0.000431	0.000428
A0012_メニュー-A	出興産(株)	0.000451	0.000000
A0012_メニュー-B	出興産(株)	0.000451	0.000200

検索

- (すべて選択)
- (株) afterFIT
- (株) CDエナジーダイレクト
- (株) CHIBAむつむつエナジー
- (株) CWS
- (株) F-Power
- (株) G-Power
- (株) J-POWERサプライメント

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■外部供給量の入力 『外部供給』シート

**注意**  
このシートは、自ら生成した熱、電気等をエネルギー管理権限の異なる他人へ供給した場合のみ入力してください。  
【入力方法】  
前年度に自ら生成した「熱」または「電気」をエネルギー管理権限の異なる他人へ供給した際の当該供給量にかかる原料の量を記入してください。  
※自家発電した電気を外部に供給した場合は、「外部供給した電力量」を「発電」で使用した燃料の量に換算して各燃料の欄に入力

エネルギーの種類	単位	横浜市内合計		原油換算500kL以上の事業所名称										
		自動計算		A工場	B工場	事業所名を入力3	事業所名を入力4	事業所名を入力5	事業所名を入力6	事業所名を入力7	事業所名を入力8			
原油(コンデンセートを除く。)	kL													
原油のうちコンデンセート(NGL)	kL													
揮発油(ガソリン)	kL													
ナフサ	kL													
灯油	kL													
軽油	kL													
A重油	kL													
B・C重油	kL													
石油アスファルト	t													
石油コークス	t													
石油ガス	千m <sup>3</sup>													
液化石油ガス(LPG)	千m <sup>3</sup>													
石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>													
可燃性	t													
天然ガス	千m <sup>3</sup>													
その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>													
原料炭	t													
一般炭	t													
無煙炭	t													
石炭コークス	t													
コールタール	t													

『外部供給』シートは、他者へのエネルギー供給が「有り」の場合のみ入力が必要です。

入力は『使用量\_1.2』シートと同様に  
原油換算500kL以上はそれぞれ  
原油換算500kL未満はまとめて  
入力してください。

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■原単位(事業者全体で統一の原単位を使用する)の入力 『使用量\_1,2』シート



排出原単位(統一)を設定する場合のみ入力してください。

原油換算エネルギー使用量(kL)		2,583	1,949	0	0	634
二酸化炭素排出量(tCO2)	基礎	4660	3,517	0	0	1,143
	調整後	4,660	3,517	0	0	1,143
排出量原単位の指標	① 名称	生産数	生産数			生産数
	量	1	② 150			10
	③ 単位(★)	t	t			t
排出量原単位(tCO2/★)	基礎(A)	③ 29.13	23.4467			114.3

① 黄色セルに排出原単位の「名称」、「単位」を入力してください。

② 緑色セルに①の入力内容が反映されます。黄色セルに排出原単位の「量」を入力してください。(例では150, 10)

③ 全体の排出原単位が自動計算されます。(例では29.13)

# ①根拠算定資料 を作成

1.2号

## ■原単位(原単位の寄与度の合計から求める)の入力 『使用量\_1,2』シート

		横浜市内 合計	500 k l 未満の 事業所		500 k l 以上の 事業所
原油換算エネルギー使用量(kL)		2,583	1,186	763	0
① 二酸化炭素排出量(tCO2)	基礎	4661	2,146	1,372	0
	調整後	4,661	2,146	1,372	0
排出量原単位の指標	名称		生産数	従業員数	延べ床面積
	量		150	100	500
	単位(★)		t	人	m <sup>2</sup>
排出量原単位(tCO2/★)	基礎(A)		14.3067	13.72	2.286
② 寄与度の合計から求めた原単位を使用して報告書を作成する場合					
基準(2021)年度原単位(tCO2/★)	基礎(B)	10	14	15	3
基礎排出量構成比	(R)	100.0%	46.0%	29.4%	24.5%
実施年度削減率 (C=(1-A/B)×100)[%]	(C)	③	-2%	9%	24%
実施年度削減率(構成比重みづけ) (Σ(R×C)×100)[%]	寄与度の合計の場合	7.34	-1%	3%	6%

排出原単位(寄与度)を設定する場合のみ入力してください。

① 黄色セルに排出原単位の「名称」、「量」、「単位」を入力してください。

② 黄色セルに基準年度の寄与度の算定に用いた排出原単位を入力してください。  
(例では、14, 15, 3)

③ 構成比で重みづけされた実施年度削減率が自動計算されます。  
(例では7.34)

# ①根拠算定資料 を作成

3号

## ■原単位設定の選択と車両台数の入力 『使用量\_3』シート

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

- Sheet name: 二酸化炭素排出量算定表(3号用) 車両台数及びエネルギー使用量入力表
- Section 1: 基礎情報 (Basic Information)
  - (1) 総括票での原単位設定 (Original unit setting in summary sheet)
    - 設定無し (Not set)
    - 設定あり (Set)
- Section 2: 横浜市内における2022年度の車両台数 (Vehicle count in Yokohama City for 2022)

2021年度		2022年度			
年度末所有車両 111 台		a 継続台数 106 台	走行あり① 106 台	走行なし 0 台	年度末所有車両 114 台
		b 減車台数 5 台	走行あり② 5 台	走行なし 0 台	
新規台数 10 台		c 継続台数 8 台	走行あり③ 8 台	走行なし 0 台	走行台数 120 台
		d 減車台数 2 台	走行あり④ 1 台	走行なし 1 台	(①+②+③+④)

① 原単位の設定有無を選択してください。

・設定ありの場合は、すでに提出している計画書と同じ指標としてください。

※次期計画を作成する場合で、指標を前計画と別のものに変更する場合は、次期計画用に新たにファイルをダウンロードしてください。

② 「年度末所有車両」台数は、昨年度情報が自動表示されます。黄色セルに増減台数、走行台数をそれぞれ入力してください。

# ①根拠算定資料 を作成

## ■エネルギー使用量の入力 『使用量\_3』シート

3 2022年度に走行した車両の走行距離

※: 2022年度中に廃車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。

① 燃料の種類	走行台数 (台/年)		走行距離 (km/年) (a)		燃料補給量 (/年) (b)		燃費 (/km) (b÷a)	
	基本	調整後	基本	調整後	基本	調整後		
ガソリン	500		11,100,000		2,500,000	L	0.2252	
軽油	500		10,000,000		2,500,000	L	0.2500	
天然ガス	85		1,500,000		150,000	m <sup>3</sup>	0.1000	
LPG	310		5,000,000		1,000,000	L	0.2000	
水素								
電	登録番号+メ ニュー	基本	調整後			昼間	kWh	
		夜間	kWh					
	登録番号+メ ニュー	基本	調整後			昼間	kWh	
		夜間	kWh					
	登録番号+メ ニュー	基本	調整後			昼間	kWh	
		夜間	kWh					
	登録番号+メ ニュー	基本	調整後			昼間	kWh	
		夜間	kWh					
	登録番号+メ ニュー	基本	調整後			昼間	kWh	
		夜間	kWh					
	合計		1,395	0	27,600,000	0		
	走行台数(検算用)		1,395	0	←検算用の値と走行台数の合計値が一致			

① 2022年度に走行した車両の「走行台数」、「走行距離」、「燃料補給量」を燃料の種類ごとにまとめて入力してください。  
※今年度から入力方法を変更しました。

**【単位に注意してください！】**  
今年度から、単位を変更しました。

燃料の種類	変更前	→	変更後
ガソリン	kL	→	L
軽油	kL	→	L
天然ガス	千m3	→	m3
LPG	t	→	L

# ①根拠算定資料 を作成

## ■電気の使用量の入力 『使用量\_3』シート及び『電力会社』シート

3 2022年度に走行した車両の走行距離

注意: 2022年度中に廃車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。

燃料の種類	走行台数 (台/年)	走行距離 (km/年) (a)	燃料補給量 (/年) (b)	燃費 (/km) (b÷a)
ガソリン	500	11,100,000	2,500,000	L 0.2252
軽油	500	10,000,000	2,500,000	L 0.2500
電気	85	1,500,000	150,000	m 0.1000
その他	310	5,000,000	1,000,000	L 0.2000

登録番号+メニュー	基礎	調整後	昼間	夜間
登録番号+メニュー	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
登録番号+メニュー	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
登録番号+メニュー	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
登録番号+メニュー	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
計	1,395	0.0000	0.0000	0.0000

②

③

①

登録番号+メニューから  
コピー&ペースト

① 『電力会社』シートで、購入先電力会社(メニューがある場合はメニュー別)の「登録番号+メニュー」を検索してコピーしてください。

② ①でコピーした文字列を『使用量\_3』シート中の「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。

③ 電力会社ごとに走行台数、走行距離、電気の使用量を入力してください。



# ①根拠算定資料 を作成

3号

## ■原単位の入力 『使用量\_3』シート

4 2022年度の二酸化炭素排出量等

	二酸化炭素排出の 合計量 (tCO2)		排出原単位の指標		排出原単位 (tCO2/★)	
	基礎	調整後	走行距離			基礎
			量	単位★		
横浜市内	14264.5	14,265	27,600	km	0.5168	

①

②

③

① 入力した燃料の使用量から二酸化炭素排出の合計量及び「走行距離」を指標とした排出原単位が自動計算されます。

② 「走行距離」以外の指標を排出原単位として設定する場合は、黄色セルに「名称」、「量」、「単位」を入力してください。

③ 排出原単位が自動計算されます。

## ②報告書 を作成

### ■各シートの説明

シート名	項目	記入要領
報1	1 事業者概要 2 計画期間 3 公表方法	•提出日を記入 •事業者概要等は、変更がある場合上書き
報2	4 排出の抑制に係る目標等	•目標の達成状況を記入
報3	5 クレジットの取組状況 6 再エネ利用設備の稼働状況 7 次世代自動車の導入状況	•クレジット及び再エネ利用設備の状況を記入（導入がなければ記入不要） •次世代自動車の導入状況及び保有状況を記入、導入・保有がない場合も「0（ゼロ）」を記入
報4	8 重点対策	•各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
報5	9 自主的な対策	•設備更新、運用改善、低炭素電気への切替え等の対策による削減量を記入（導入がなければ記入不要）
報6	10 その他取組 11 特記事項	•廃棄物削減の取組や環境教育等の取組状況を記入（取組がなければ記入不要）
報7	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	•事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標値はすでに提出した計画書を参照

## ②報告書 を作成

1.2号 3号

### 『報1』シート

Excel spreadsheet showing a form for reporting climate action implementation status. The form includes fields for business ID, date, address, and name, with some cells highlighted in yellow and green.

1	細則第38号様式（第2条第49号）		事業者ID	1398233
2	(総括票)			
3	地球温暖化対策実施状況報告書			
4			年	月
5			日	
6	(提出先)			
7	横浜市市長		住所	神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10
8			氏名	横浜市 市長 山中 竹春
9				
10				
11			(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)	
12	横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。			
13	1 地球温暖化対策事業者等の概要			
14	事業者の名称	横浜市		
15	及び代表者の氏名	市長 山中 竹春		
16	主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10		
17	主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）	
18		中分類	98 地方公務	
19		<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第39条第1項第1号該当事業者	

• 黄色セル を記入してください。

• 緑色セル は昨年度情報を自動表示しています。

『はじめに』シートで入力した事業者IDに応じ、昨年度情報を自動表示しています。変更がある場合は、上書き修正してください。

## ②報告書 を作成

1.2号 3号

### ■『報2』シート 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第1号及び第2号該当事業者)		特定温室効果ガス排出量		削減率	原単位
基準年度 (2021年度)	基準	192,636	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	238,860	t-CO <sub>2</sub>		
目標年度 (2024年度)	基準	183,559	t-CO <sub>2</sub>	4.71 %	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	224,221	t-CO <sub>2</sub>	6.12 %	削減率 %
第 一 年 度 (2022年度)	基準	210,115	t-CO <sub>2</sub>	▲ 9.1 %	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	212,306	t-CO <sub>2</sub>	11.1 %	削減率 %
第 二 年 度 (2023年度)	基準		t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率 %
第 三 年 度 (2024年度)	基準		t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率 %
達成状況		<input type="radio"/> 目標を上回った <input type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を下回った			
省エネ取組		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
事業活動量		<input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動無し <input type="radio"/> 減			
自由記述欄					
4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況(第3号該当事業者)		特定温室効果ガス排出量		削減率	原単位
基準年度 (2021年度)	基準	8,321	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	8,321	t-CO <sub>2</sub>		
目標年度 (2024年度)	基準	8,238	t-CO <sub>2</sub>	1.0 %	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	8,238	t-CO <sub>2</sub>	1.0 %	削減率 %
第 一 年 度 (2022年度)	基準	6,947	t-CO <sub>2</sub>	16.5 %	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	6,947	t-CO <sub>2</sub>	16.5 %	削減率 %
第 二 年 度 (2023年度)	基準		t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率 %
第 三 年 度 (2024年度)	基準		t-CO <sub>2</sub>	%	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率 %
達成状況		<input type="radio"/> 目標を上回った <input type="radio"/> おおむね目標通り <input type="radio"/> 目標を下回った			
省エネ取組		<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし			
事業活動量		<input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> ほぼ変動無し <input type="radio"/> 減			
自由記述欄					

● 黄色セル を記入してください。

1,2号該当事業者は4の1に、3号該当事業者は4の2に目標の達成状況等を記入してください。

● 白色セル は自動表示のため記入不要です。

青枠内：過年度の報告データが自動表示されます

赤枠内（4の1）：『使用量\_1,2』シートで算定した2022年度排出量データが自動表示されます

緑枠内（4の2）：『使用量\_3』シートで算定した2022年度の排出量データが自動表示されます

『報3』～『報6』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している記入例を参照してください。

■ 記入例URL：

[https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r5\\_application\\_guide.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r5_application_guide.html)

## ②報告書 を作成

1.2号

### ■『報7』シート 個別票

1 事業所等の概要			
事業所等の名称(工場)			
事業所等の所在地			
延床面積	㎡	原油換算エネルギー使用量	2,364 kL
エネルギー管理種別		事業者区分	
--- 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。 ---			
2 温室効果ガスの排出の原則に違反し且隠蔽の状況			
伴発温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> e)		原単位	
事業年度 (2022年度)	4,830	t-CO <sub>2</sub> e	1.00
目標の進捗及び達成状況の説明 (2022年度)			

個別票は、原油換算エネルギー使用量が500kL以上の事業所の数作成してください。

- **黄色セル** を記入してください。  
『使用量\_1,2』シートの入力情報から、作成が必要な事業所の分、記入欄がアクティブになります。
- **緑色セル**は『使用量\_1,2』シートのデータを自動表示しています  
変更がある場合は上書き修正してください。
- **白色セル** は自動表示のため記入不要です。

※今年度から、1シートで複数事業所分を記載する方法に変更いたしました。個別票は**縦**に配列しており、最大40事業所分の記載が可能です。

### ③計画書を作成

(第3年度事業者、新規事業者のみ)

#### ■計画書シート構成

シート名	項目	記入要領
計1	1 事業者概要 2 計画期間 3 排出抑制の基本方針	•排出抑制の基本方針を記入 ※報告書と同一の情報は反映済み • <u>計画期間(2023~2025年度)をあらかじめ入力済み</u>
計2	4 公表方法 5 排出の抑制に係る目標等	•目標の設定状況を記入 ※報告書と同一の情報は反映済み
計3	6 クレジットの取組状況 7 設備等の新設・更新計画 8 次世代自動車の導入状況・計画	•クレジット、設備更新、次世代自動車について、導入計画を記入(計画期間中の予定がない場合は「無」を選択) •次世代自動車については、3月31日時点の保有台数を記入 <u>(未保有の場合も、「0(ゼロ)」を記入)</u>
計4	9 重点対策	•各対策の管理基準等の設定状況、実施状況をそれぞれ選択
計5	1 事業所概要 2 排出の抑制に係る目標等	•事業所の概要、目標の達成状況を記入 ※目標設定の記入については、原油換算エネルギー使用量1,500kL以上の事業所は必須、それ以外は任意

### ③計画書 を作成

1.2号 3号

(第3年度事業者、新規事業者のみ)

### 『計1』シート

事業者ID	1898233
提出先	横浜市市長
住所	神奈川県横浜市中央区本町6丁目50番地の10
氏名	横浜市市長 山中 竹春
主たる事業の業種	大分類 S 公務 (他に分類されるものを除く) 中分類 98 地方公務
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第1号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第2号該当事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第3号該当事業者

事業者ID	
提出先	横浜市市長
住所	
氏名	
主たる事業の業種	大分類 A 農業、林業 中分類 01 農業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第1号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第2号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例施行規則第99条第1項第3号該当事業者 <input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者 (任意提出事業者)

黄色セル を記入してください。

緑色セル は必要に応じて上書き修正してください。

報告書の入力内容を自動で反映しています。

【報告書の提出がある事業者】

【新規事業者】

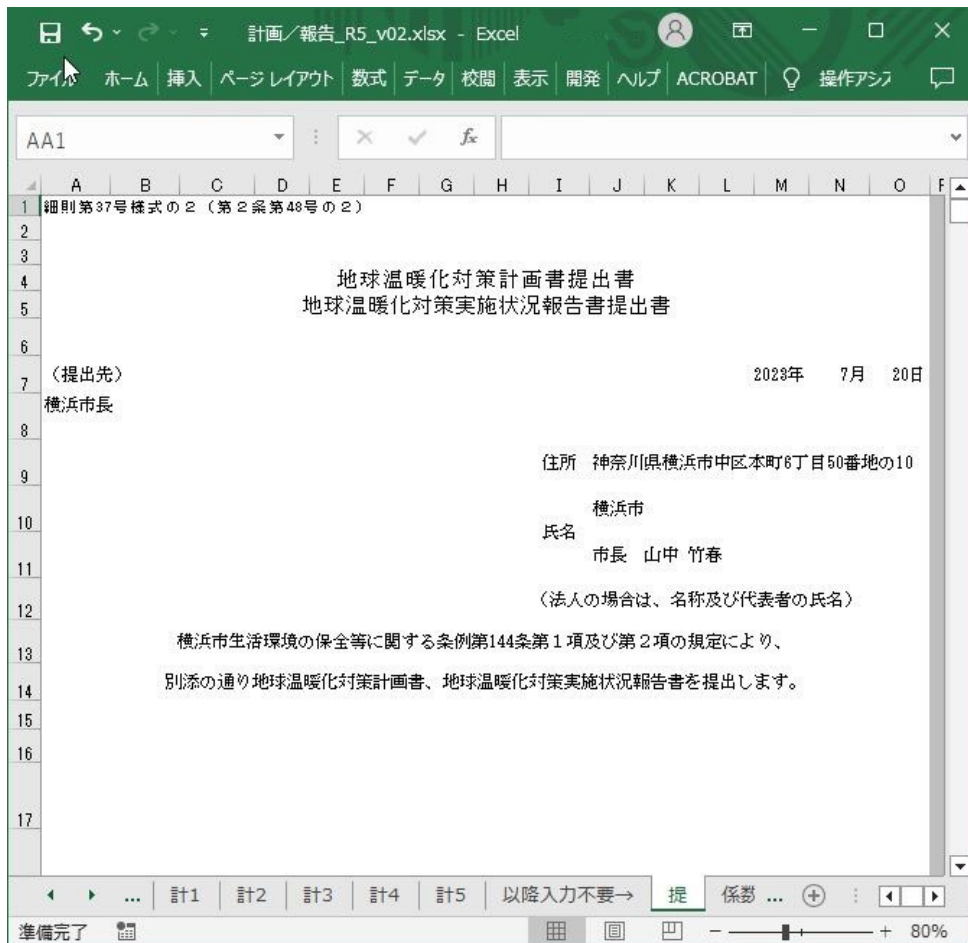
『計2』～『計5』シートの記入にあたっては、横浜市HPに掲載している記入例を参照してください。

■ 記入例URL : [https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r5\\_application\\_guide.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koengesui/ondanka/keikakusho/r5_application_guide.html)

# 提出書

1.2号 3号

## ■『提』シート



報告書等に記載いただいた情報から自動作成いたしますので、記入の必要はありません。

※2023年度から提出書の様式を変更しました。



## 手順2:作成したデータ等を電子申請システムで提出

■作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

### 【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/cef67e85-21a5-4218-b439-1c27ace97f86/start>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先:横浜市環境創造局環境管理課 計画書制度担当

電話番号:045-671-4224

電子メール:ks-keikakusho@city.yokohama.jp

副本が必要な方は、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送(所定額の切手を貼った返信用封筒を同封)してください。